

2 平成24年主要災害種類別被害概況

(1) 平成23年12月以降の降雪、低温等による農作物被害

平成23年12月以降の降雪、低温等の影響により、主に果樹で樹体損傷等、麦類で雪腐病による被害が発生し、被害面積は3万9,000ha、被害見込金額は57億3,000万円となった。

ア 気象概況

平成23年12月以降、断続的に強い寒気が日本付近へ流れ込んだため、全国で気温が低く、大雪となる地域も広範囲にわたった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、果樹が32億4,000万円（被害総額の57%）と最も大きく、次いで麦類が18億1,000万円（同32%）、野菜が6億7,200万円（同12%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、北海道が18億1,000万円（被害総額の32%）と最も大きく、次いで青森県が17億6,000万円（同31%）、長崎県が13億7,000万円（同24%）となった。

表 1 - 1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	39,000	3,280	36,300 88 千本 0 10 a	5,730	100	
麦 類	30,700	2,110	20,400	1,810	32	北海道
野 菜	1,090	19	1,680	672	12	鹿児島、長崎、鳥取
果 樹	7,200	1,150	14,200	3,240	57	青森、長崎、鹿児島
工 芸 農 作 物	5	-	2	1	0	京都
そ の 他 農 作 物	1	0	1 88 千本 0 10 a	11	0	京都、山形、北海道

- 注：1 被害面積欄に示されている「30%以上」は、被害量が平年（平均）収量の30%以上あった面積をいう（以下の各表において同じ。）。
- 2 その他農作物は、切り花類、種苗・苗木類、芝等である（以下の各表において同じ。）。
- 3 被害量の単位は、切り花類及び種苗・苗木類は千本、鉢もの類は千鉢、切り葉は千枚、芝は10 a、それ以外の作物は t である（以下の各表において同じ。）。

(2) 台風第4号による農作物被害

台風第4号により、野菜で茎葉の損傷、果樹で落果や傷果等の被害が発生し、被害面積は1万2,700ha、被害見込金額は13億9,000万円となった。

ア 気象概況

台風第4号は、6月18日に沖縄県の南海上、19日の昼過ぎに四国の南海上に達した後、速度を速めて紀伊半島に接近し、強い勢力を維持しながら19日17時過ぎに和歌山県南部に上陸した。さらに、19日20時過ぎに愛知県東部に再上陸し、北東に進み、20日明け方には福島県沖に達し、20日9時に温帯低気圧となった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、スイートコーン等の野菜が7億1,800万円（被害総額の52%）と最も大きく、次いでもも等の果樹が3億1,400万円（同23%）、葉たばこ等の工芸農作物が3億1,100万円（同22%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、静岡県が2億5,200万円（被害総額の18%）と最も大きく、次いで愛知県が2億円（同14%）、山梨県が1億7,100万円（同12%）となった。

表2-1 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額 100万円	構成比 %	主な被害地域
	ha	30%以上 ha				
総数	12,700	403	8,420 387千本 6千鉢	1,390	100	
水陸稲	1,070	2	43	9	1	静岡、宮城、兵庫
麦類	648	17	91	4	0	三重、宮城、茨城
かんしょ	410	-	120	15	1	静岡
雑穀・豆類	359	40	36	6	0	宮城、群馬、兵庫
野菜	3,960	199	3,780	718	52	千葉、神奈川、群馬
果樹	3,550	30	1,010	314	23	山梨、静岡、群馬
工芸農作物	2,720	115	3,350	311	22	愛知、静岡、沖縄
その他農作物	18	0	387千本 6千鉢	16	1	静岡、愛知、群馬

(3) 平成24年梅雨前線豪雨等による農作物被害

平成24年梅雨前線豪雨等により、水稲、野菜等で浸冠水、土砂流入等の被害が発生し、被害面積は1万1,500ha、被害見込金額は32億5,000万円となった。

ア 気象概況

北日本から西日本で梅雨前線や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多く、大雨となったところもあった。特に、7月11日から14日にかけては、梅雨前線に向かって非常に湿った空気が流れ込んだため九州北部地方の所々で記録的な大雨となった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、ねぎ等の野菜が13億3,000万円（被害総額の41%）と最も大きく、次いで水陸稲が11億1,000万円（同34%）、ぶどう等の果樹が3億6,000万円（同11%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、福岡県が16億1,000万円（被害総額の50%）と最も大きく、次いで熊本県が9億9,300万円（同31%）、大分県が4億3,400万円（同13%）となった。

表3-1 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	ha	30%以上 ha				
総数	11,500	1,660	12,700 6,770 千本 187 千鉢	3,250 100万円	100%	
水陸稲	8,730	1,160	5,060	1,110	34	熊本、福岡、大分
麦類	26	-	7	1	0	北海道、秋田
かんしょ	2	2	27	3	0	熊本、大分、島根
雑穀・豆類	984	91	193	27	1	熊本、佐賀、秋田
野菜	873	231	5,450	1,330	41	福岡、熊本、大分
果樹	465	97	1,150	360	11	福岡、青森、大分
工芸農作物	165	19	290	110	3	熊本、大分、北海道
飼肥料作物	217	42	537	4	0	熊本、大分、秋田
その他農作物	55	15	6,770 千本 187 千鉢	312	10	福岡、熊本、大分

(4) 台風第15号による農作物被害

台風第15号により、さとうきびで茎葉の裂傷、折損等、野菜で茎葉の損傷等の被害が発生し、被害面積は3万1,000ha、被害見込金額は13億2,000万円となった。

ア 気象概況

台風第15号は、8月25日に大東島地方の南海上を大型で非常に強い勢力で進み、その後勢力をほぼ維持しながら北西に進んだ。26日に沖縄本島付近を通過し、勢力を弱めながら速度を速めて東シナ海を北上した。

なお、27日の日降水量が鹿児島県伊仙町で観測史上最高値を記録した。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、さとうきび等の工芸農作物が10億4,000万円（被害総額の79%）と最も大きく、次いでしょうが等の野菜が1億4,300万円（同11%）、水陸稲が8,100万円（同6%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、鹿児島県が8億1,800万円（被害総額の62%）と最も大きく、次いで沖縄県が4億2,300万円（同32%）、長崎県が7,600万円（同6%）となった。

表4-1 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総数	31,000	116	47,700 1,530 千本	1,320	100	
水陸稲	11,300	7	346	81	6	長崎、宮崎、鹿児島
かんしょ	850	-	69	4	0	鹿児島
野菜	452	3	556	143	11	鹿児島、沖縄、長崎
果樹	830	-	50	11	1	鹿児島、沖縄
工芸農作物	17,100	100	45,800	1,040	79	鹿児島、沖縄
飼肥料作物	403	-	826	9	1	鹿児島
その他農作物	20	6	1,530 千本	36	3	鹿児島、沖縄

(5) 台風第16号による農作物被害

台風第16号により、さとうきびで茎葉の裂傷、折損等、水稻で倒伏や潮風害等の被害が発生し、被害面積は3万8,900ha、被害見込金額は17億7,000万円となった。

ア 気象概況

台風第16号は、9月15日に非常に強い勢力となって沖縄の南海上を北へ進んだ。16日に大型で非常に強い勢力を保ったまま沖縄本島付近を通過し、その後九州の西海上を北へ進んだ。

なお、16日の日最大風速が鹿児島県与論町で観測史上最高値を記録した。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、さとうきび等の工芸農作物が8億1,300万円（被害総額の46%）と最も大きく、次いで水陸稲が3億5,600万円（同20%）、オクラ等の野菜が2億4,400万円（同14%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、鹿児島県が7億8,100万円（被害総額の44%）と最も大きく、次いで沖縄県が3億9,000万円（同22%）、長崎県が3億8,900万円（同22%）となった。

表5-1 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	ha	30%以上 ha				
総数	38,900	396	48,900 1,620 千本	1,770	100	
水陸稲	16,500	153	1,590	356	20	長崎、福岡、佐賀
かんしょ	1,700	-	1,250	64	4	鹿児島
雑穀・豆類	762	66	136	21	1	佐賀、鹿児島、福岡
野菜	864	21	820	244	14	鹿児島、長崎、沖縄
果樹	2,240	16	624	142	8	熊本、沖縄、長崎
工芸農作物	16,000	-	38,100	813	46	鹿児島、沖縄
飼肥料作物	724	140	6,360	80	5	長崎、鹿児島
その他農作物	74	0	1,620 千本	47	3	沖縄、鹿児島、長崎

(6) 台風第17号による農作物被害

台風第17号により、さとうきびで茎葉の裂傷、折損等、果樹で枝折れや落果等の被害が発生し、被害面積は3万4,100ha、被害見込金額は30億3,000万円となった。

なお、一部地域においては、台風第19号による被害を併せて受けており、その区分が明らかでないものを含んでいる。

ア 気象概況

台風第17号は、非常に強い勢力となり、9月28日に沖縄の南海上に達した。29日に南西諸島を暴風域に巻き込みながら北上し、30日17時半頃志摩半島付近を通過して、19時頃愛知県東部に上陸した。その後関東甲信地方、東北地方を経て、10月1日昼頃には北海道東方海上に達した。

台風第19号は、10月3日に硫黄島の南海上、4日に八丈島の南東海上、その後関東地方の東海上を北東へ進んだ。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、さとうきび等の工芸農作物が15億5,000万円（被害総額の51%）と最も大きく、次いでかき等の果樹が5億9,000万円（同19%）、きく等のその他農作物が3億9,500万円（同13%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、沖縄県が15億9,000万円（被害総額の52%）と最も大きく、次いで鹿児島県が7億7,000万円（同25%）、和歌山県が3億1,000万円（同10%）となった。

表6-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	34,100	341	77,300 10,700 千本 3 千鉢 2,850 千枚	3,030	100	
水 陸 稲	1,790	226	317	73	2	沖縄、愛知、和歌山
か ん し ょ	95	-	109	13	0	沖縄、静岡
雑 穀 ・ 豆 類	1,720	28	94	25	1	三重、群馬、愛知
野 菜	1,990	39	1,620	379	13	沖縄、鹿児島、三重
果 樹	4,980	39	2,910	590	19	和歌山、沖縄、愛知
工 芸 農 作 物	22,500	-	71,700	1,550	51	沖縄、鹿児島、栃木
飼 肥 料 作 物	650	-	600	6	0	鹿児島、北海道、三重
そ の 他 農 作 物	316	9	10,700 千本 3 千鉢 2,850 千枚	395	13	沖縄、東京、鹿児島

注：一部地域においては、台風第19号による被害を併せて受け、その区分が明らかでないものを含む（表6-2、6-3及び6-4において同じ。）。